

# *Letter* No.12

雪崩分科会総会の案内

事業報告

会計報告

新規研究企画の募集

ピンポンなだれの見学案内

雪崩関連の研究発表(口頭・ポスター)

会場MAP

1993年9月10日発行

日本雪氷学会雪崩分科会

## 雪崩分科会総会の案内

### ■総会

日時：1993年10月17日（日） 18:00～20:00

会場：新庄市民プラザ 第5第6研修室  
[REDACTED]

### 話題提供

1. 中国梅里雪山で発生した雪崩の走路推定  
中尾正義（名古屋大・水圏研）
2. ピンポン球のなだれ  
納口恭明（防災科研・長岡雪水研）

### ■懇親会

日時：1993年10月17日（日） 20:05～21:30

会場：共和（新庄市民プラザから徒歩5分）  
[REDACTED]

### ■平成4～5年度分科会役員

会長	新田隆三
監査	川田邦夫
庶務	納口恭明
会計	藤沢和範
企画	町田 誠、和泉 薫、上石 勲
編集	阿部 修、福沢卓也

## 事業報告

### ■第4回雪崩対策の基礎技術研修会

会場：新潟県湯沢東映ホテル

日程：4月12日～14日（3日間）

参加人数：63名

プログラム：

- 4/12 開講式、降積雪と雪崩の基礎知識、雪崩VTR
- 4/13 スキー場の雪崩対策とその実際、雪崩対策のための山の見方、集落の雪崩対策と研究の動向、雪崩埋雪者の捜索の救助法、積雪観測法、懇親会
- 4/14 雪崩対策工現地検討、雪崩捜索・救助法実習、積雪観測法実習、閉校式

## 会計報告

平成4年10月15日現在

### ■収入の部

項目	金額(円)	摘要
前年度繰越金	344,025	
会費納入	95,560	納入率個人74%(新4人)、 団体100%
雪崩研修会収益金	70,000	
預金利息	2,358	
合 計	511,943	

### ■支出の部

項目	金額(円)	摘要
レターNo.10発行	36,200	平成4年 2月発行
レターNo.11発行	9,220	平成4年10月発行
研修会案内発送	6,758	平成4年 2月発行
ワーキンググループ補助	50,000	雪崩ダイミックス(代表:前野)
幹事会旅費	68,568	湯沢市(参加3人)
講師旅費・謝礼	45,980	総会講演依頼:鶴田要一郎氏
会議費	4,000	総会 懇談会
書留送料	2,483	会計 → 庶務
事務用品購入	1,800	封筒、セロテープほか
切手代	1,537	通信用
合 計	236,546	

### ■次年度繰越金

収 入	511,943円
支 出	-236,546円
差引残高 =	275,397円 (次年度繰越金)

## 新規研究企画募集

雪崩分科会幹事会

雪崩分科会ではその活動を活性化するため、会員間に関心のある調査・研究課題等について研究会を組織し、より多くの関心ある人達の検討を加えて研究が発展するように願って会合費程度の援助をするようにしています。これまで「雪崩ダイナミクスWG」（代表：前野紀一）が一件採決されています。さらに活発な研究企画の募集を行っていますのでご応募下さい。

応募に関して特にやっかいな規約等はありませんが、その研究企画が大いに推進される内容のものと判断された場合、企画推進の費用として、一件につき5万円程度を分科会の経費から代表者に出します。これらの研究会への参加は雪崩分科会の全会員に開かれたものとし、一般的情報は適宜*letter*等で流すこととします。

企画の応募をご希望の方は、形式はありませんが、研究部会名、簡単な目的と内容、代表者名（世話役）等をメモして分科会会長もしくは分科会庶務宛にお知らせ下さい。

## ピンポンなだれ見学案内

10月21日（土）に行われる雪氷学会全国大会のミニ見学会\*において新庄雪氷防災研究支所見学時に、同所の御協力により、ピンポン球数千個を用いたピンポン球なだれのデモンストレーションを、同所の雪崩シュートを用いて行います。参加は、無料ですので見学希望者は、ミニ見学会に御参加下さい。なお、申し込み受付は大会期間中に行われます。

\* 10月21日（土）9:00（新庄市尾プラザ発）～12:00（JR新庄駅解散）  
新庄雪氷防災研究支所・積雪地方農山村研究資料館・ふるさと歴史センター

## 全国大会の雪崩関係の発表

10月18日(月)口頭発表 10:45~12:00 座長 納口 恭明

### ■雪崩誘発装置ガゼックスの効用について

○上石勲 ((株)アルゴス)、飯吉章通 (新井リゾート(株))、  
川田邦夫 (富山大学)、  
早川典生、千葉京衛 (長岡技術科学大学)

### ■山岳雪崩地図—北海道、富山県、長野県—

福沢卓也 (北大低温研)、○飯田 肇 (黒部市吉田科学館)

### ■ピンポン球雪崩の運動と構造

小杉健二、佐藤篤司、阿部 修 (防災科研・新庄)  
納口恭明、山田 穰 (防災科研・長岡)、  
西村浩一 (北大低温研)、和泉 薫 (新潟大災害研)

### ■積雪状態の数値シミュレーションと雪崩発生予測への発展性について

○福沢卓也、秋田谷英次 (北大低温科学研究所)

### ■保存性及び非保存性の傾斜サーマル

○福嶋祐介、早川典生 (長岡技大)、  
近藤 敏 (新日鉄(株))

10月19日(火)ポスター発表Ⅲ 15:00~16:30

### ■なだれ現象における相似則と集団の力学

発泡スチロールなだれ・ピンポン球なだれ・雪なだれ  
納口恭明 (防災科研・長岡雪氷研)

■乾雪表層雪崩の日米共同研究 その1

中村 勉、山田 穰、五十嵐高志、納口恭明、  
岩波 越（防災科研・長岡）、阿部 修（防災科研・新庄）、  
Rand Decker(17U.)、Doug Abromeit、  
Bruce Tremper(USDA.17) 、Sue Ferguson(USDA.7シントン)

■乾雪表層雪崩の日米共同研究 その2

雪崩衝撃力測定用パイロンの設計および設置

○阿部 修・中村 勉（防災科学技術研究所）、  
Rand Decker（17大学、米国グループ代表）

■乾雪表層雪崩の日米共同研究 その3

雪崩の衝撃力

○阿部 修、中村 勉、納口恭明、  
岩波 越（防災科学技術研究所）、  
Rand Decker（17大学、米国グループ代表）

■黒部峡谷の融雪鉄砲水災害

○川田邦夫（富山大・理）、関西電力（(株)北陸支社）

■あられを滑り層とする表層表崩

ネパールヒマラヤにおける観測報告

松岡健一（北海道大学工学部応用物理学科）

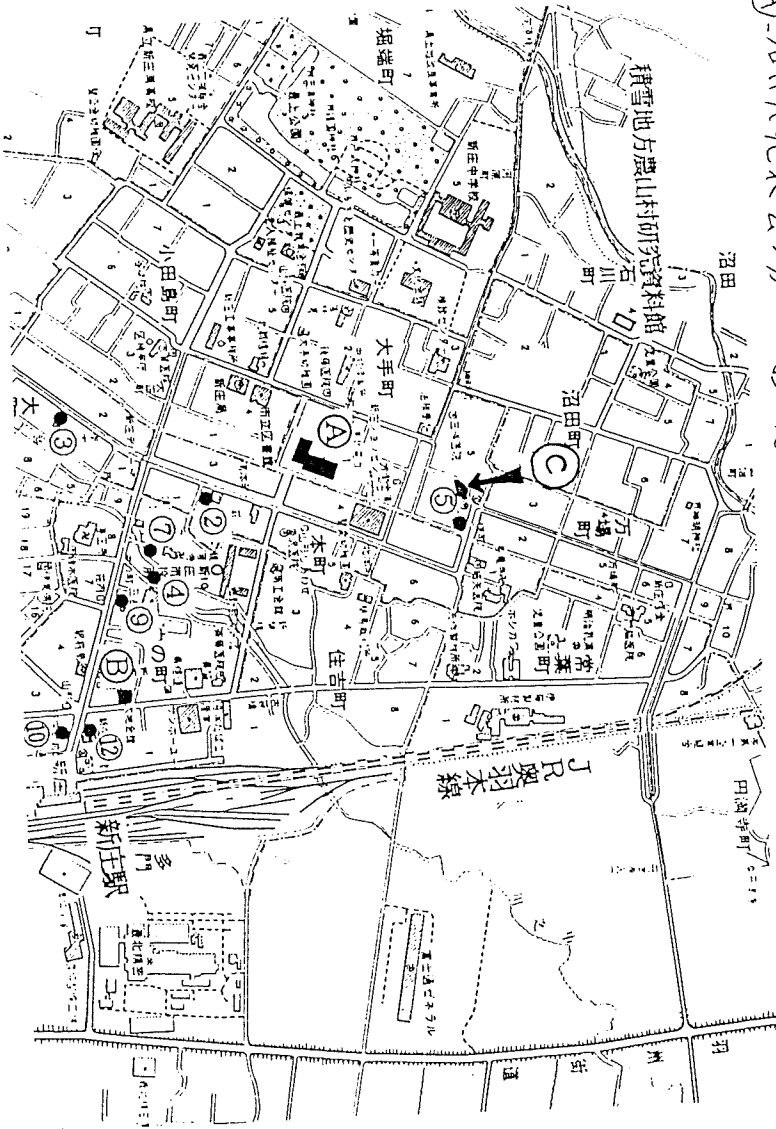
■地形情報を用いた雪崩危険度マップ作成システムの開発

○藤沢和範（建設省土木研究所新潟試験所）、  
上石 勲、渡辺伸一（(株)アルゴス）

① 五ヶ穴発表会場

② 懇親会場

③ 雪崩科会 懇親会場



\*\*\*\*\*  
\*  
\* 会員名簿 \*  
\*  
\*\*\*\*\*

日本雪氷学会  
雪崩分科会

(個人会員)

(団体会員)

1993年6月26日